



2023年11月30日撮影
細谷優子 永田ひとみ
坂和章平弁護士 橋詰彩佳



最新刊！『シネマ 53』
2023年12月出版
定価1,430円（税込み）



『シネマ 54』
2024年3月出版予定
定価1,980円（税込み）

◆ 業務時間・アクセス ◆

平日 午前9時～午後6時 土日祝は休業

【大阪メトロ堺筋線・谷町線「南森町駅」から】

2番出口を出て左へ（西へ）。阪神高速の高架に向かって進む。高架をくぐったところになにわ北府税事務所があるので、その手前で左に曲がり、高架沿いに直進（南下）。1つ目の信号（西尾倉庫・みなみの森保育園の手前）で右に曲ると、右手に西天満郵便局がある。その3軒西隣が西天満コートビルです。



【大阪メトロ堺筋線・京阪「北浜駅」から】

26番出口を出てすぐの難波橋を渡る。2つ目の信号（Y字路の交差点「西天満1東」）を横断せずに右へ進むと阪神高速の高架があるので、その手前の信号「菅原町西」で堺筋を北へ横断。高架沿いに直進（北上）し、2つ目の信号（左手に西尾倉庫・みなみの森保育園の看板）で左に曲ると、右手に西天満郵便局がある。その3軒西隣が西天満コートビルです。

新年あけましておめでとうございます。

第1 ハマス・イスラエル紛争は？

1) 2023年10/7、ガザ地区で活動するイスラム原理主義組織ハマスから大量に発射されたロケット弾が、イスラエル国内を襲った。同国は移動式ミサイル防衛システム「アイアンドーム」による防御網を誇っていたが、5000発もの大量のロケット弾が飛来すれば、防御システムが機能しなかったのは仕方ない。

2) 2001年の9・11テロと同じともいえる、この「奇襲攻撃」に怒ったイスラエル（のネタニヤフ首相）は自国の「自衛権」に基づき、直ちに報復攻撃を開始。ガザ地区への連日にわたる空爆後、大規模な地上戦に移り、11/15以降はガザ地区最大のシーファ病院の地下トンネル内にハマスの作戦指令室があるとして、病院内への全面突入に至っている。

3) ガザ地区への人道的支援と即時停戦（休戦）の必要性と250名超の人質の即時解放を求める世論は強いが、国連（の安全保障理事会）は有効に機能せず、「戦闘休止要求決議」を米英露は棄権する有り様だ。人質解放と停戦を巡る攻防は、リビア、イラン、エジプト等の中東諸国をも巻き込んでいるから、早期停戦（解決）の期待とは逆に、このままでは第5次世界大戦はおろか、下手をすれば第3次世界大戦の引き金になる危険さをも！

第2 ロシア・ウクライナ戦争の行方は？

ウクライナは西欧諸国の支援とゼレンスキー大統領の奮闘の中、2023年6月に反転攻勢を開始したが、大国・ロシアの抵抗は強く、東部戦線はもとより南部戦線でも「膠着状態」に陥っている。そのうえ、ハマスのイスラエル抗争の勃発による米国の「支援疲れ」は顕著で、支援についての米国内での共和VS民主の温度差（対立）も大きい。ゼレンスキー大統領は膠着状態を否定しているが、近時は軍との不協和音や政権内部の汚職体質の声もチラホラ！極寒期での戦いは大変だから、膠着状態の長期化はマズい。さあ、ウクライナと米欧は停戦、終戦に向けていかなる戦略を？

第3 米中首脳会談が実現！その成果は？

1) バイデン大統領と習近平国家主席との米中首脳会談が、2023年11/15、APEC首脳会議

が開かれたサンフランシスコで開催された。6年半ぶりに米国を訪れた習氏のメンツを重視した米側は、会談場所をサンフランシスコ近郊の静かな山あいにある庭園に設定した。さらに、会談後の昼食会でバイデン大統領は自身のスマホで38年前にサンフランシスコを訪れた若き日の習氏の写真を見せて「全く変わらない」と持ち上げて見せる一幕も。1983年のレーガン・中曽根、2001年のブッシュ・小泉、2019年のトランプ・安倍の日米会談では、「ウマの合った」両首脳の蜜月ぶりが目立ったが、今回の2人の米中両首脳の笑顔には、どこか取ってつけたような感も・・・。

2) 80年代の改革開放政策によって急速に実力をつけた中国は、集団指導体制を続けた江沢民、胡錦濤時代は米中の共存が続いたが、「近代化」を掲げて権力の集中化を進めた2014年の習近平体制以降は、2035年の小康状態、2049年新中国100周年で米国を凌駕する、を目標に掲げ、ある時は「太平洋を仲良く2人で分けよう」との提案も・・・？

3) 他方、米国は2016年11月、ヒラリー候補を破ったトランプ大統領が「米国第一」を掲げた。2016年はトランプ（共和党）、2020年はバイデン（民主党）と、ギリギリの接戦が続く中、目を覆うばかりの上院下院の混乱が続く。民主主義の牙城が大きく揺らいでいる。ウクライナ戦争とハマスVSイスラエル紛争の勃発も大きな悩みの、今や米国は台湾や朝鮮半島を中心とする東アジア方面を含む、三方面作戦を余儀なくされている。

4) そんな米国の真の競争相手は経済的にも軍事的にも中国！その位置づけはトランプ共和党でもバイデン民主党でも同じだから、1年ぶりに実現した米中首脳会談の成果は？台湾問題はもとより、ロシア・ウクライナ戦争、中東紛争についても、今や米中の相違点は大きく、譲歩できる点はほとんどない。そんな米中の首脳会談で新たな関係を示せたのは仕方ない。今回やっと実現できたのは、「紛争にしない」旨の対話が約4時間。その成果は、衝突防止のための国防軍対話の再開（だけ）だ。2022年8月のペロシ下院議長

の台湾訪問への対抗措置として打ち切られていた国防当局間の対話を復活したことはたしかに成果だが、たったそれだけ・・・？ハリウッド大作『ザ・クリエイター 創造者』（23年）では、AI（人工知能）との共存を目指すニューアジアと、AIを敵視する米欧諸国との対決が描かれた。しかし、米中会談ではAIに関する政府間の対話開始を合意した。

第4 日中首脳会談も実現！その成果は？

1) 米中に続いて、11/16には日中首脳会談も実現。これは2022年11月の開催以来1年ぶりだ。首相同行筋は「懸案について漏らさず日本の立場を伝えた」と語り、予定時間を20分超過した「かみ合った議論」を展開したと説明したが、私には、紋切り型の総理の原稿読みスピーチの姿はまるで説得力なし！

2) 日中間の懸案は、①尖閣諸島を含む東シナ海情勢②中国公船の日本領海への再三の侵入③福島第一原子力発電所が海洋へ放出している「処理水」を中国が「核汚染水」と呼び、日本水産物の輸入を全面的に禁止している問題④スパイとして拘束している邦人の即時釈放問題、等々多岐に渡るが、その「懸案を伝えた」ことにどれほどの意味があるの？

3) 首相は「首脳を含むあらゆるレベルで緊密な意思疎通を重ねていくことで一致した」と述べ、処理水を巡っては、「両国の専門家が議論する新たな枠組みの設置が合意された」と成果を誇った。しかし、産経新聞の「懸案伝達も習氏の反応薄く」という見出しのように、私には堂々とした習氏に対して、どこかおどした、上目遣いに相手を見る岸田首相の頼りない姿が印象的だった。田中角栄、橋本龍太郎、小泉純一郎、安倍晋三等に比べると、その存在感のなさ、圧迫感のなさが際立っていると云わざるを得ない。

4) 安倍晋三×胡錦濤間で、歴史的認識をめぐって冷えた日中関係を改善するべく2006年に合意した「戦略的互恵関係」を「再確認した」ことが会談の最大の成果だと総理は胸を張った。しかし、実利を重視し、政治、経済両面で協力し、2国間、地域、世界の課題解決に取り組むことを目指したこの概念は近

時、「建設的かつ安定的な関係の構築」という概念に切り替わっている。これは、2022年末に政府が決定した国家安全保障戦略が中国を「最大の戦略的挑戦」と位置付けたことからわかるように、近年の中国が「互恵」の精神から大きく逸脱していると考えているためだ。そんな状況下での「戦略的互恵関係」の再確認に一体どれほどの価値があるの？

第5 APEC 首脳宣言採択 (11/17)

1) G7 は日本、アメリカ、カナダ、フランス、イギリス、ドイツ、イタリア及び EU による先進国首脳会議 (主要国首脳会議)。G20 はそれに新興国 12 カ国を加えた国々と地域から成る国際会議だ。他方 BRICS はブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ共和国の総称。また、グローバルサウスは、もともと経済的に開発途上である国々や地域を指していたが、近時は第三世界や発展途上国といった用語に代わって、社会経済的な不平等や格差を強調する用語として使われている。

2) APEC は日米や中国、ロシア、台湾など 21 カ国・地域が参加するアジア太平洋経済協力会議だが、当然政治的な役割も担っている。しかし、その首脳宣言は全会一致が原則だから、立場の違いのため、ロシアのウクライナ侵略の非難をそこに盛り込むのは困難だ。そのため、2023 年 11 月サンフランシスコで開催された APEC では、議長国の米国はウクライナ侵攻や中東情勢の言及については米国の議長声明に譲り、自由で開かれた貿易の推進や気候変動への対処等、20 カ国が合意可能な事項に限定した「首脳宣言」を 11/17 に採択した。

3) そんな APEC に対して、米国が主導する新たな経済圏構想が、IPEF (インド太平洋経済枠組み) だ。IPEF に参加する日米韓豪など 14 カ国は、11/16 首脳会合を開き、新たに実質妥結した 2 分野を確認し、「新たな課題に対処する地域協力」を掲げた首脳声明を発表した。そこでは、中国への依存度を減らし、IPEF 地域内の競争力を高めることを念頭に、重要鉱物に関する対話枠組みを創設することも示した。

4) 1950 年代の東西冷戦終了後は、ソ連邦が衰退していく中で米国の一天下が続いたが、中国が急速に経済力と軍事力を強めた結果、今や完全に「米中対決の時代」に突入している。そして 2022 年 2/24 のロシアによるウクライナ侵攻を契機として、西欧型民主主義国 VS 独裁型専制主義国の対立構造が定着していく中、地球上で最も重要な国際機関である国連をはじめ WTO (世界貿易機関)、IMF (国際通貨基金) 等の機能不全ぶりが昨今は目立っている。そんな状況下、わが国にも大きな影響のある APEC と IPEF の展開にも注目！

第6 北朝鮮が軍事偵察衛星を！(11/21)

1) 北朝鮮による拉致問題は日本固有の問題だが、核・ミサイル問題は朝鮮半島問題だけでなく、全世界的な大問題だ。軍事大国を目指す金正恩総書記は、米国に対抗する唯一の手段として核ミサイル実験 (開発) を繰り返してきたが、それに対して日本政府は「遺憾の意」を表明するばかり。これではダメ！そう思っていると、北朝鮮は 11/21、弾道ミサイル技術を使用した軍事偵察衛星を発射し地球周回軌道に乗せた。その目的は米軍や韓国軍の動静を把握すること。その中に米本土や在日米軍基地が含まれるのは当然だ。さあ、米国はどうするの？そして韓国は？日本は？

2) 2022 年 3 月の選挙で「共に民主党」の李在明に勝利した「国民の力」の尹錫悦大統領は直ちに反応し、①軍事境界線周辺の飛行禁止区域の効力停止、②2018 年に偶発的衝突の防止などを目的に署名された南北軍事合意を事実上、破棄する声明を発表した。これは当然の自衛措置だが、北朝鮮は南北境界線周辺で新たな挑発を行う可能性が高く、偶発的な軍事衝突の危険がある。現実には、北は南北軍事境界線付近に「より強力な武力と新型の軍事装備を配備する」と宣言し、「軍事的衝突の責

任は韓国側にある」と主張したからヤバイ。新しい年の始めに、「朝鮮半島有事」が発生しないことを願いたい。・・・

第7 台湾の総統選挙の行方は？(1/13)

与党民進党の頼清徳に対して、国民党の侯友宜と台湾民衆党の柯文哲の野党共闘の成否がポイントだが、鴻海郭台銘の動静も直前まで不明。総統選の結果には、中国も米国も、そして日本も注目！さあ、台湾はどうなるの？

第8 米国大統領選挙の行方は？(11月)

1) 2023 年 11/22 はケネディ暗殺 60 周年の日。1961 年の米国は、43 歳の知的でハンサムな民主大統領の誕生に大興奮した。しかし、24 年 11 月の大統領選挙は、再びバイデン VS トランプの最年長対決になりそうだ。

2) 刑事被告人という立場で立候補するトランプだが、共和党内ではデサントイスやヘイリーを大きく引き離す断トツの集票力を誇っているし、何よりも本人のバイタリティがすごい。81 歳を迎えたバイデンは、ウクライナでも中東でも難問を抱えながら世界中を飛び回り奮闘しているが、認知症の心配もチラホラと。さらに 23 年 11 月の世論調査では、今回も接戦必至の 6 つの州のうち 5 つの州でトランプにリードを許しているらしい。ユダヤ系の有力者が多い米国社会では、流動する中東情勢の中でイスラエルとどう寄り添うのかが、支持率や集票力にも大きく影響する。

3) バイデンもケネディも、そして「初の女性大統領誕生確実！」と言われたヒラリー・クリントンも民主党だが、「バイデンではムリ」の声をバックに、故ケネディ大統領の甥であるロバート・ケネディ・ジュニア等の「第 3 の候補」が無所属で出馬すれば、事態はさらに深刻だ。ロシアも中国も、米国の民主主義の力がどれほどのものかに注目する中、さあ 2024 年 11 月に向けて、いかなる選挙戦が展開されるのか、しっかり注目したい。

第9 岸田内閣の行方は？総選挙は？

1) 2021 年 10/31 の総選挙の勝利で「黄金の 3 年」を手に入れた岸田文雄内閣は、22 年 12 月、安全保障関連三文書の改定、防衛費の GDP2%、5 年間で 43 兆円の増額を決める等、22 年 7/8 の銃撃事件で無念の死を遂げた安倍晋三元首相の遺志を次々と具現化していった。

2) 岸田総理は 23 年 5 月の広島での G7 サミットも議長国として仕切り、存在感を発揮。23 年 9/13 の第 2 次岸田第 2 次改造内閣では 5 人の女性閣僚を起用し、10/20 からの第 212 回臨時国会の冒頭では「経済！経済！経済！」と連呼した。そして、「解散風」を一旦封印し、「減税と還付」を政策の目玉にしたが、逆にその思惑が見透かされたためか、支持率は低下の一途をたどり、11 月には最低の 20% 台に。

3) 原稿棒読みの岸田節では、副大臣のドミノ倒し辞任や統一教会問題を含めて野党からの攻勢にさらされる国会論戦での反転攻勢は難しい。すると、このまま衆議院の解散もできず内閣は徐々に「死に体」となり、自民党総裁の任期満了前に辞任、総裁選挙になる可能性が高い。そんな「いつか見た風景」と同じ風景はゴメンだが、こんな体たらくでは年末年始での岸田内閣の建て直しは到底無理？

第10 プロ野球、大リーグ

1) 阪神タイガースとオリックス・バファローズが共にリーグ優勝！共に CS 戦を勝ち上がり、日本シリーズで対決した。その熱戦は第 7 戦までもつれ込み、4 勝 3 敗で阪神が勝利。第 7 戦が延長・引分となり、第 8 戦をやればもっと盛り上がったが、それは贅沢というものだ。岡田采配も、中嶋采配も共にお見事だった。ここ数年のオリックスの大変身も、矢野采配から岡田采配への転換による、たった 1 年間での「ダメ虎」の大変身も、その理由と背景についてさまざまな角度からの分析が不可欠だ。巨人とソフトバンクの「不甲斐なさ」との対比の中、両球団とも今後数年は「黄金時代」が続きそうだ。

2) 大リーグでは大谷翔平が二刀流を極め、10

勝&本塁打王となり、2 度目の満票 MVP を獲得！まさに今が旬の大谷は我が世の春だ。その才能は天井知らずだし、誰からも愛される人間性も最高。努力を怠らない姿も素晴らしい。しかし、「山高ければ谷深し」の教訓は株の世界だけではない。また、林美英子が綴った「花の命は短くて、苦しみことのみ多かりき」も世の常だ。イチローは太く長く現役を続けたが、さて大谷は？

第11 将棋、囲碁

1) 中学 1 年生の時に将棋にハマった私は、新聞の棋譜を毎日切り抜いていたが、当時の頂点は大山康晴。以降、中原誠、米長邦雄、谷川浩司を経て羽生善治が登場。NHK 杯で学生服を着た羽生が先輩棋士たちをねじ伏せる姿には大興奮したものだ。大山時代は五冠だったが、1996 年には羽生の名人、王将、王位、棋聖、竜王、王座、棋王七冠の達成にビックリ！しかし、それは 1 年しか続かなかった。

他方、2016 年に 14 歳で四段デビューした藤井聡太はどこまで伸びるの？羽生との頂上対決は実現するの？そんな注目の中で時代は一気に進み、2023 年 10 月、叡王を含む藤井聡太八冠が誕生した。2024 年は A 級 1 組でのリーグ戦の他、8 つのタイトル戦を 1 つ 1 つ最後の挑戦者と戦わなければならないからそりや大変！もっとも、将棋の世界はスポーツ界ほど「山高ければ谷深し」ではないから、彼の今後の息の長い活躍を期待したい。

2) 囲碁界では、一時不調だった芝野虎丸が復活。しかし、井山裕太の復活はまだまだだから、目下のトップは井山、芝野、そして一力遼の 3 人が分け合っている。将棋界では男女の実力差が明確だが、囲碁界ではその差は小さく、男性のトップ棋士と対等に戦う藤沢里菜、上野愛咲美、上野梨紗、謝依旻ら若手女性棋士の活躍に注目！また、「高いレベルで勉強する」べく、日本棋院から韓国棋院への移籍を決めた、史上最年少タイトル保持者、仲邑童女流棋聖 (14 歳) の活躍にも注目！

第12 谷村新司の逝去に哀悼！

1) 「アリス」の谷村新司と堀内孝夫は、さだまさしと共に同年代の歌手の代表だ。3 人とも素晴らしい曲を次々と発表してきたが、谷村が歌った『昴』と『いい日旅立ち』、そして山口百恵に提供した『秋桜』の素晴らしさは別格だ。北新地通いをしていた 80~90 年代の私は、『22 歳』や『誕生日 - ありふれた黄昏の街にて -』等、あまり人が歌わない彼の「女歌」を好んで歌っていた。年末時代劇スペシャル TV ドラマの『白虎隊』や『田原坂』の主題歌として堀内が作り歌った『愛しき日々』や『遥かな轍』はドラマ性の高い名曲だが、谷村の曲は微妙で繊細な女心を描いたものが多い。2004 年からの、日中を股にかけた上海音楽学院での教授活動もお見事だった。

2) 他方、『二百三高地』(80 年) の主題歌『防人の詩』はさだまさしの作詞作曲。『大日本帝国』(82 年) の主題歌『契り』は五木ひろしの作曲だが、『連合艦隊』(81 年) の主題歌『群青』は谷村新司の作詞作曲だ。若い人はまず歌わないこの 3 つの『戦争大作』の名曲は私の愛唱歌だが、その世界観を考えただけでも 3 人の音楽家としての能力の高さがよくわかる。

3) 石井裕也監督最新作『愛にイナズマ』(23 年) は「ケッタイな女監督」と「あかんたれ男」との「ぎこちない恋」を描いた快作。この邦題を聞けば、私の世代なら誰でも谷村作詞、堀内作曲のアリスのヒット曲『冬の稲妻』(77 年) と『君のひとみは 10000 ボルト』(78 年) を思い出す。雷とイナズマ、そして恋はよほど相性がいいのだろう。

4) 年末年始には一人カラオケに行き、谷村が加山雄三と 2 人で歌った『サライ』を、同世代で大活躍した彼への哀悼として歌いたい。

2024 (令和 6) 年元旦 (2023 年 11 月 24 日記)

坂和総合法律事務所

所長 弁護士 坂和 章平

事務所と坂和章平弁護士近況報告

第1 弁護士業務の現状

1) かつては午前10時の弁論とそれに続く弁論準備、午後は証人調べという形で法廷通いの毎日だったが、今は帝国ホテルのフィットネスクラブでの水泳とサウナが日常になっている。日曜毎の水泳・サウナに続く全身マッサージと足つぼマッサージも定着。また、日曜日の午後はNHKの囲碁対局を見た後の事務所での原稿書きも定着した。昔の依頼者からの法律相談や訴訟案件はたまにあるから、それには誠実に対応しているが、1/26の誕生日で75歳を迎える今、こんなライフスタイルはある意味で“理想的”なものだと考えている。

2) 2023年4月に入社した橋詰彩佳は映画評論のパソコン打ちをメインに、微博(weibo)の入力等、あらゆる文章作成の仕事を手付けてくれている。

第2 講義・講演

1) 大阪電気通信大学の授業を収録(6/28)(4頁・写真①)

今や毎年の恒例となった、大阪電気通信大学の王少鋒先生の「映画の見方・評論の書き方 映画から見る国際交流論—日中韓映画比較—」と題する2コマ(90分×2)の授業を事務所で収録。レジメの基本形は毎回同じだが、新たな状況が生まれているので、その分は新規に追加。今回は、①映画から学ぶ時事問題、②映画から学ぶ歴史、③話題の受賞作から考える、④NHK大河ドラマ『どうする家康』をどう見る、を追加し、充実した内容に。

収録後、難波にある新疆料理レストラン「ムカーム」で会食(5頁・写真⑧)。7月からアメリカで新規事業を始める郭小莉さんと、8月末からハンガリーの医大へ留学する王先生の娘・笑音さんを引き合わせ、互いの夢と希望をそして人生の展望を語り合う絶妙のタイミングになった。はじめて食べた新疆料理の美味しさは格別。舌鼓を打ちながら、充実した前向きの会話が盛り上がった。74歳の私も、郭小莉さん、王笑音さんに負けず、これからも前向きに進まなくちゃ!

2) 事務所見学(11/2)、阪大ロイヤリング講義(12/7)

11/2(木)、阪大ロイヤリングの一環として、4人の法学部の学生が事務所見学に。その内、日本の司法試験の予備試験を目指す20歳の中国人女性と、兵役を経験した30歳過ぎの韓国人男性に興味津々。目標に向けての奮闘を支援したい。また、30年以上続いている「まちづくりの法と政策」と題する講義を12/7(木)に実施。うめきた2期の全貌が見え始めた今、あらためて本講義の意義を確認したい。

3) 防災講演会(11/11)(4頁・写真②)

私が中学、高校時代を過ごした、松山にある愛光学園の先輩で、現在、NPO法人「都市災害に備える技術者の会」の副理事長職にある伊藤東洋雄氏の紹介により、11/11(土)午後1時30分から、『防災講演会』の講師を務めた。テーマは「宅地造成及び特定盛土等規制法の施行と課題」。このきっかけは、私が2023年1月に出版した『新旧対照・逐条解説 宅地造成及び特定盛土等規制法』が伊藤氏の目に留まったことだ。

講演の要請を受けた私は、第1部「まちづくりの法と政策(まちづくり法体系)」と、第2部「宅地造成及び特定盛土等規制法の解説」に分けて、2時間にわたって熱弁を振るい、その後1時間の質疑に応えた。かなり“言いたい放題”の講演会になったから、その反応は賛否両論に分かれるかもしれないが、私は大切な問題提起をすることができたと(自己)満足している。講演終了後、12名が参加した酒を飲みながらの懇親会でも、さまざまな(ギリギリの)テーマについて、ギリギリの言葉と表現で盛り上がる議論が続いた。これに懲りず、「またのお呼び」を期待したい。

第3 執筆活動(1) 新日本法規出版の加除本

1) 『問答式 土地区画整理の法律実務』は、7月にリモートで編集会議をし、8月に『「小規模で柔軟な区画整理 活用ガイドライン」とは、「柔軟な区画整理の手引き〜小規模な区画の再編・活用のすすめ〜」とは』等の新設5問と補正22

問の原稿を執筆し、10月に追録56・57号が発行された。

2) 『わかりやすい都市計画法の手引』は、10月~11月、現在の情勢に合わせた加筆や修正をするとともに、重要な判例について、各条に参考判例やケーススタディとして追加をした。追録55号への発行は、1月、2月の予定。

3) 『Q&A 災害をめぐる法律と税務』は、「所有者不明土地管理制度における所有者不明土地・建物管理命令とは」、「管理不全土地・建物管理制度における管理不全土地・建物管理命令とは」の他、東日本大震災における原子力災害対策特別措置法に基づく住民対策としての区域設定として、①避難指示および屋内退避指示、②警戒区域、計画的避難区域、緊急時避難準備区域、③避難指示解除準備区域、居住制限区域、帰還困難区域についての新設問を、また、東日本大震災における福島復興再生特別措置法に基づく住民対策としての区域設定として、①特定復興再生拠点区域、②特定帰還居住区域、についての設問など、新設20問を執筆するとともに、補正52問の加筆・修正をした。追録71・72号が11月に、73~75号が12月に発行された。

第4 執筆活動(2) 『シネマ53』『シネマ54』を出版

2023年4/1~9/30の鑑賞分をまとめた『シネマ53』を12月に出版、さらに中国映画だけをまとめた『中国電影大観5』となる『シネマ54』も2024年3月に出版予定だ。『シネマ53』の表紙は『シネマ51』に続いて梅田スカイビル地下の「七夕まつり」にしたが、『シネマ54』の表紙は2005年の山東省旅行で私が皇帝の姿に扮したものに。強力なパソコン要員のおかげでシネマ本作りは今後ずっと続きそうだ。

第5 日中友好活動(総領事館の広報アドバイザーとして)

1) 2023 新疆文化と観光交流イベント(4頁・写真④)

8/31(木)、午後3時~6時、中外文化交流センターや中国駐大阪総領事館等の主催で、「2023 新疆文化と観光 交流イベント」を帝国ホテルで開催。これは、新疆ツアー第1陣の報告会と、9/2に出発する第2陣ツアー参加者21名の壮行会を兼ねた、一大イベントだ。①薛剣総領事、②溝畑宏大阪観光局理事長、③小島康裕老師の挨拶後、新疆文化観光庁が、大型映像に沿って「新疆よいところ(新疆はヶ好地方)」を紹介。新疆の特徴は①シルクロード、②多民族、③資源、④一帯一路の4つ、新疆の魅力は①美しい、②楽しい、③美味しい、の3つだが、この映像を観ていると、ぐいぐいと新疆の魅力に引き込まれていくことに! “イベントの華”は美しい舞曲の数々。素晴らしい7つの演目の合間に、第1陣ツアー参加者の報告と第2陣参加者からの期待の発言が次々と。舞曲終了後は、踊り子たちが舞台から会場に降り、会場の来賓の方々を含む“乱舞”になったが、これが“新疆ウイグル方式”! 続いて、来賓の方々が舞台に上り、演者たちと並んでの“大規模記念撮影大会”になったが、これが中国式だ。演目終了後、会場の外には新疆のおいしい果物や飲み物等を並べた軽食コーナーが設けられた。

第1陣にも第2陣にも、80歳を超えて参加した人がいるのなら、74歳の俺だって! そう思う私が思い出したのは、学生時代の1967年にザ・フォーク・クルセダーズが歌って大ヒットした『帰って来たヨッパライ』。そこでは「天国よいとこ一度はおいで 酒はうまいし ねえちゃんはきれいだ」と歌っていたが、今日の映像を観ていると、さしずめ「新疆よいとこ一度はおいで メシはうまいし ねえちゃんはきれいだ」を実感!

2) 「2023 大阪・中国映画週間」開催(4頁・写真⑥)

10/26(木)、TOHOシネマズ梅田8階で「2023 大阪・中国映画週間」が開幕。これは、「2022 大阪・中国映画週間」に続く2回目で、今年は計13本の最新作品が上映されるうえ、中国から多くの監督や出演陣が来阪。開幕式は豪華なラインナップに。『封神〜嵐のキングダム〜』(23年)の鑑賞後、舞台をウェスティンホテル4階に移して、盛大なレセプションが開かれ、中国から来阪した監督や俳優の挨拶と、恒例の歌や踊りが、和気藹々とした雰囲気の中で盛り上がった。規模の大きさに驚くとともに、総領事館の1年間の努力に敬服! 豪華なラインナップが実現した「大阪・中国映画週間」の更なる継続と発展を期待!

《講義・講演》



【写真①】6/28
大阪電気通信大学の
王少鋒先生の授業を収録



【写真②】11/11「防災講演会」で講演



《日中友好活動》



【写真③】8/5 中日平和友好交流昼食会に参加



【写真④】8/31
2023 新疆文化と観光交流イベント開催



【写真⑤】9/22
中華人民共和国建国 74 周年祝賀レセプションに出席



【写真⑦】11/23
毛丹青老師らと会食



【写真⑥】10/26 「2023 大阪・中国映画週間」開催
—開幕式・レセプションに参加

《その他、半年間の出来事》



【写真⑧】6/28
新疆料理「ムカーム」
で会食



【写真⑨】7/24
天神祭の宵宮へ



【写真⑩】8/6
西天満神鋒講の
慰労会に出席



【写真⑪】8/30
「至福の歌謡曲
夢の時代」
CD7枚を購入



【写真⑫】9/16
阪神「優勝
おめでとうセール」
で景品をゲット!



【写真⑬】11/9
iPhone15 Pro Max 1TB
を購入



【写真⑭】7/29～31
北海道苫小牧へ出張



【写真⑮】9/30～10/2
苫小牧でゴルフと焼肉を!



中日平和友好交流昼食会 (8/5) (4 頁・写真③)

1) 中国駐大阪総領事館の主催で、中日平和友好交流昼食会が、8/6の「原爆の日」に毎年広島で開催されている「原水爆禁止世界大会」の各種式典に参加するべく、78回目の今年は、中国から中国人民平和軍縮協会が来日。8/4の広島でのセッションに参加した後の来阪に合わせて、ホテルニューオータニB1階で、昼食会が開催された。日本側からは、①大阪府日中友好協会及び各地区協会、京都府日中友好協会、奈良県日中友好協会の代表が参加し、私も大阪府日中友好協会の理事として参加した。

2) 薛劍総領事の挨拶後、同協会の周力副会長からスピーチ。乾杯の後、昼食が始まり、和気藹々の雰囲気の中、日中友好協会の役員が次々と挨拶。その中には、自ら通訳する“猛者”も。私は、秦の始皇帝を描いた人気シリーズの邦画『キングダム 運命の炎』の話を絡めて広報アドバイザーとしての自分の役割をスピーチした。最後に、“ヨー・ポン”の一本締めで終了。

建国 74 周年祝賀レセプション (9/22) (4 頁・写真⑤)

9/22 (金)、ホテルニューオータニ大阪で、中華人民共和国建国 74 周年祝賀レセプションを開催。これは、中国駐大阪総領事館の主催で、中国淮揚美食フェアーも同時に開催され、淮安市副市長も来賓として出席。薛劍総領事の挨拶後、数人の挨拶を経て、乾杯、会食が開始。舞台上で新疆ウイグルやモンゴル等の魅力溢れる歌や踊りが披露される中、会場内はあちこちのテーブルでさまざまな話題に盛り上がった。

毛丹青老師らと会食 (11/23) (4 頁・写真⑦)

1) 毛丹青・李淵博の師弟、そして新たな弟子になった(?) 崔クンらと久しぶりの会食で活発な意見交換を行った。激動している中国の政治・経済、軍事・外交情勢を横目に、毛老師の“民間を軸とした日中の知的文化交流活動”は活発化している。

2) それとともに、10年間継続中の愛弟子(一番弟子)である李クンの活動範囲も広がりがつ深化中で、12月にはベトナムに飛ぶほどだ。青海出身の崔クンも2回生ながら技能実習生の経験を持つ29歳の大人だから、今ドキのヤワな大学生とは違い、話題が豊富で面白い。コロナ禍が明け、自由な活動が可能になった今、毛老師らとの情報交換の機会を増やし、私の活動力もアップしていきたい。共同进步！共同发展！

天神祭の宵宮へ (7/24) (5 頁・写真⑨)

7/24 (月) は天神祭の宵宮。事務所も自宅マンションも大阪天満宮から徒歩5分のところにある私は、西天満連合会神銚講に属している。町会活動にも真面目に参加している私は、7/24夕方、西天満連合会神銚講を訪問し、缶ビールをいただき、天神祭の宵宮の雰囲気を存分に味わった。その帰り道には「御神酒笑姿(おみきえびす)」の前で写真撮影。これは、蛭子門の前にあるえびす様の石像で、「天満宮のえびす様に御神酒をお供えしたら、えびす様の顔が赤くなった」という故事にちなんで作られたものだ。西天満連合会神銚講の詰所をアメリカ行き直前の郭小莉と中3の一人息子を連れて訪問し、日本の夏祭りの暑い、熱い想いの一端を感じ取ってもらった。アメリカでの事業の成功を期待！

西天満神銚講の慰労会 (8/6) (5 頁・写真⑩)

コロナ禍で中断されていた天神祭が、2023年は7/24、25と4年ぶりに開催。そのために尽力を続けてきた西天満神銚講は、8/6(日)、日本料理「八幸」で慰労会を開催。慰労会には、①各町会の役員、②天満宮の関係者、③西天満小学校の関係者、④“神童”クンのお父さん、等々、西天満神銚講に集う計約80名が参加し、大いに盛り上がった。おいしい料理とお酒を満喫した後、恒例の“大阪締め”の唱和で終了し

た。来年も無事開催できることを期待！

「至福の歌謡曲 夢の時代」を購入 (8/30) (5 頁・写真⑪)

私は近時、武田鉄矢が司会する金曜日放映のBSテレ東の「武田鉄矢の昭和は輝いていた」と、太川陽介が司会する日曜日放映のBS日テレの「そのとき、歌は流れた～時代を彩った昭和名曲」の2番組を気に入り、毎週録画しながら見ている(聞いている)。そんな中、新聞で「至福の歌謡曲 夢の時代」を知り、CD7枚を購入。夜はいつもiPodで流す①映画音楽大全集②モーツァルト全集③中国語講座等を聞きながら寝ているが、今後はこのCDも追加するつもり。それが続くと、ひょっとしてカラオケ通いが復活するかも・・・。

「優勝おめでとうセール」(9/16) (5 頁・写真⑫)

1) ジョーシン電機は阪神タイガースの公式スポンサーだから、“ARE 達成！”となると、「優勝おめでとうセール」を開催するのは当然。優勝決定の翌日9/16(土)にTOHOシネマズ西宮OSで映画を観るのに合わせて売り場に行くと、レジは長蛇の列。私は前日に電話で商品購入の予約をしていたからスムーズに処理できたうえ、大量の“お買い物”の結果、ユニフォーム等の景品をゲット！

2) 11/23(木)の御堂筋パレードは見に行けなかったが、11/25(土)にはジョーシン電機でソニーの85型TVを自宅のリビング用に購入。入れ替えた75型は事務所の事務室に設置することに。70型、75型、85型の3台+3台のレコーダーのフル活用で、しっかり情報収集に励みたい。

iPhone15 Pro Max 1TB を購入 (11/9) (5 頁・写真⑬)

1) 長い間ガラケーでOK論者(=スマホ不要論者)だった私は、遂に2021年9月、スマホデビューした(事務所だより38号参照)。デビュー当時は最安の機種だったが、それでも、LINEはもとよりWeChatも微博(Weibo)もOKだったから、こりゃ便利。写真撮影機能も使いこなしてくると、次第に一眼レフのカメラを持ち歩くのが重荷になってきた。

2) それから2年、映画評論を始め、微博への投稿は既に600件を超え、閲覧者数も1件当たりの投稿で平均で1000人、多い時は5000人を超えた。新発売のiPhone15の写真機能は5倍ズームがある上、メチャ美しい。しかもPro Maxの1TBなら動画撮影のプロ並みに撮影しても容量は絶対大丈夫だ。

3) 価格は約30万円と高いが、一眼レフを次々に買い換えてきたことを考えると安いもの。“自撮り”を含めて、これ1台で「何でもパシャパシャ」が可能に！待ち期間約1ヶ月を経て、やっと11/9(木)に入手できた。年末年始はこれで写真を撮りまくりたい。

北海道苫小牧へ出張 (7/29~31) (5 頁・写真⑭)

私が長年監査役を務めている北海道の会社の経営会議と2連チャンのゴルフに参加するため苫小牧へ出張。1日目は2時からエスコンフィールド北海道で日ハムVSオリックスの試合を観戦する予定だったが、直前に起きたハプニングのため野球観戦は中止。その代わりに、ハーブの森へ行き、お茶を飲んだ後、ウトナイ湖を見学。3時前に天然温泉のあるドーミンイン苫小牧にチェックインしてサウナに入り、5時からの会食兼経営者会議に参加した。2日目はエミナGCでゴルフを楽しんだ後、ホテルでサウナに入り、5時から居酒屋「海へ」で会食。3日目は千歳空港C.C.ゴルフを楽しんだ後、空港に行き、4時半の飛行機で帰阪。充実した出張になった。

苫小牧でゴルフと焼肉 (9/30~10/2) (5 頁・写真⑮)

苫小牧へ出張に合わせて、毛利一夫、伸子夫妻と3人で2連チャンのゴルフを。北海道GC、千歳空港GCでの写真撮影は失念したが、和牛の焼肉店「白老 徳寿」で豪華な焼肉盛り合わせのコースを堪能。見て！この豪華な盛りを！

＜『沈黙の艦隊』(23年)は必見！＞

- 1) 日本が原子力潜水艦を保有し、同艦を核武装させたうえ、独立国やまとの独立宣言を！そんな、あっと驚く“世界観”を“売り”にした、かわぐちかいじの人気漫画が遂に実写映画化！海江田艦長役を演じるのは、『キングダム』シリーズの王騎役に圧倒的な存在感を見せつけた大沢たかおだ。
- 2) 自衛隊の潜水艦事故で 76 名の乗組員が全員死亡！そんな偽情報を操ってまで、日本が米国から原潜〈シーバット〉を入手したのは一体なぜ？海江田が試験航行中のそれを“強奪”したのは一体なぜ？激怒した米太平洋艦隊が総力を挙げてその撃沈を命令したのは当然だ。驚愕した日本政府も〈つつなみ〉にその捕獲を命じたが、海江田が描く戦略・戦術は？
- 3) 原爆を備えた潜水艦は海中深く潜ってこそその価値！しかるに、空母を含む米太平洋艦隊のド真ん中に〈シーバット〉を浮上させた海江田は「我々はここに、独立国“やまと”の建国を宣言する」と宣言したからすごい。対英独立戦争の末に独立を勝ち取った初代大統領トーマス・ジェファソンは 1776 年「アメリカ独立宣言」を発表したが、海江田による“やまと”の独立宣言にはいかなる意味と効果が？
- 4) 護衛艦「いずも」の空母化を実現した日本は、2022 年 12 月、防衛関連三文書を改訂し、総額 43 兆円の防衛費増額を承認したが、原潜の保有はまだまだ先？そう思っていたが、中露の支援を受けた北朝鮮は、核・ミサイルだけでなく潜水艦も多数保有しているから、2023 年 3 月の大統領選挙で勝利した韓国の尹錫悦大統領は、対抗上米軍との合同演習を強化中だ。また、今年 1 月に総統選挙を迎える台湾も自前の潜水艦「海鯤」の進水式を行ったから、近い将来、日本も・・・？
- 5) さあ、海江田はどうするの？米本土近くまで進み、米国大統領との首脳会談を要求するの？そんな興味ある展開を大スクリーン上で見るためにはシリーズ化が不可欠だが、本作の人気は？興行収入は？日本は戦後 78 年間、平和と安全を享受してきたが、ウクライナ戦争やハマス VS イスラエルの戦いを見ると、しっかりと本作の問題提起を受け止め、防衛とは？原潜とは？そして、独立とは？平和とは？を考えたい。コミックス累計 1 億部を突破した『キングダム』は 11/17 (金)、“御愛読感謝”の 2 面ブチ抜き広告を出したが、壮大な世界観を表現した『沈黙の艦隊』は必見！

＜二作品から 1941 年 12/8 の真珠湾攻撃を考える＞

- 1) 雲梯監督『サタデー・フィクション』(19 年)(中国映画)
近時、『戦狼 2/ウルフ・オブ・ウォー2』(17 年)や『1950 鋼の第 7 中隊』(21 年)等の戦争大作の大ヒットが続く中国だが、他方で、張芸謀(チャン・イーモウ)監督の『崖上のスパイ』(21 年)や、婁燁(ロウ・イエ)監督の『サタデー・フィクション』(19 年)等の“スパイもの”も人気だ。『パープル・バタフライ』(03 年)に続く彼の“スパイもの”は、1930 年代の魔都上海の英仏租界を舞台にした鞏俐(コン・リー)扮する女スパイ×オダギリジョー扮する暗号専門の海軍少佐による、“偽りの愛と策略の物語”だが、そのテーマは？その展開は？
劇中劇は面白い！それは、名作『恋に落ちたシェイクスピア』(98 年)で実証済みだが、女優を主人公にした本作は、正に劇中劇がピッタリ！NHK の朝ドラでは、終戦直後に笠置シズ子に歌った『東京ブギウギ』が注目されているが、1941 年 12 月の日米開戦直前の“魔都”上海の英仏租界でも、「蘭心大劇場」ではジャズが鳴り響くシーンからスタート！ところが、その裏側で、ある情報収集に励むスパイ達の暗躍とは？こりゃ面白い。「トラトラトラ」は「我奇襲に成功せり」、「新高山登(ニイタカヤマノボ)れー二〇八」は「12 月 8 日に攻撃を開始せよ」の暗号だったが、海軍の新暗号“山桜(ヤマザクラ)”とは一体ナニ？
- 2) 『エトロフ遥かなり』(93 年)(NHK TVドラマ)
昨秋に再放送された、30 年前の NHK ドラマ『エトロフ遥かなり』(93 年)は、真珠湾攻撃に向かう日本の大機動部隊の集結場所を巡る日米を股にかけた興味深いスパイものだった。日米海戦が迫る中、米国のスパイになった日系人の任務は日本海軍の動向の偵察だが、なぜ彼は北海道の更に北にあるエトロフ島へ？
- 3) 両作のテーマは共に 1941 年 12/8 に起きた真珠湾攻撃だ。『トラ・トラ・トラ！』(70 年)や『パール・ハーバー』(01 年)等は、83 年前の 12/8 に現実に起きた真珠湾の奇襲攻撃を映画化した名作だが、2022 年 2/24 のロシアによるウクライナ侵攻も、2023 年 10/7 に起きたハマスによるイスラエルへの大量のロケット弾攻撃も、直近の現実。すると、かねてより心配されている“台湾有事”は？“北朝鮮有事”は？両作品を鑑賞する中で、そんな現実をしっかりと考えたい。

サタデー・フィクション
全国順次公開中



監督：ロウ・イエ
出演：コン・リー、マーク・チャオ、パスカル・グレゴリー、トム・ワラシア、ホアン・シャリー、中島歩、ワン・チュアンジュン、チャン、ソンウェン/オダギリジョー
2019 年 / 中国 / 中国語・英語・フランス語・日本語 / 126 分 / モノクロ / 5.1ch / 1:1.85 / 日本語字幕
原題：蘭心大劇場 / 英題：SATURDAY FICTION / 配給：アツブリック 宣伝：映舎 / EYINGFILMS

ハマスが大量のロケット弾をイスラエルに打ち込んだことにより、中東情勢は混迷度を深めているが、停戦の見通しは？毎年 12 月 8 日が近づく、1941 年の真珠湾攻撃が想起される。戦後 78 年間の平和が続いた日本の年間に平和が続いた日本のスパイものは数作が多いが、CIA や MI6 を持つ米英や二重スパイを巡る韓国、それは面白い。1930 年代の「魔都」上海を舞台とした中国のそれは？近時、『戦狼 2』(17 年)、『長津湖』(21 年)等の戦争映画大作が目立つ中国だが、張芸謀監督の『崖上のスパイ』(21 年)や本作にも注目。女スパイ×海軍少佐を中心とした日米開戦直前七日間の諜報戦は夫婦愛も絡めた国際的規模に。今秋再放送された 30 年前の NHK ドラマ『エトロフ遥かなり』は機動部隊の集結場所を巡るスパイものだが、本作の英仏租界では諸外国の諜報員が日米開戦の情報を探り暗躍中。する

章子怡×仲村トオルの『パープル・バタフライ』(03 年)に続く婁燁監督作品は必見！
女スパイ鞏俐×暗号専門の海軍少佐オダギリジョー！“偽りの愛と策略の物語”とは？

と、蘭心劇場での主演女優が政治犯の夫との面会を口実に、養父でもある外国人スパイと通じるのはその活動の一環？機密保持のためすべてを更新した海軍の暗号を特務機関に講義する少佐の前には、死亡した愛妻と瓜二つの女が。これは一体誰？そこに付け込む女スパイのテクニクとは？鞏俐の一人二役の配役は絶妙だ。「トラトラトラ」は「我奇襲に成功せり」、「新高山登れー二〇八」は「12 月 8 日に攻撃を開始せよ」の暗号だったが、新暗号の「山桜」とは一体ナニ？
重慶側×南京側の抗争も激化する中、『サタデー・フィクション』公演の裏で展開される諜報戦はド派手なものに。その死闘の中で生き残るのは一体誰？命懸けの女スパイが最後に辿り着く情報とは？最後に養父に託した私信とは？82 回目の日米開戦記念日を迎えるに当り本作は必見だ。

熱血弁護士
坂和章平
中国映画を語る(81)



『日本と中国』
2023 年 12 月 1 日・No. 2283

弁護士兼映画評論家 坂和章平の出版物の紹介

<まちづくり本、法律書>



(96年5月)



(01年6月)



(03年9月)



(04年11月)



(05年4月)



(07年7月)



(08年4月)



(15年11月)



(17年6月)

<実況中継シリーズ全4冊>

<その他の著書>



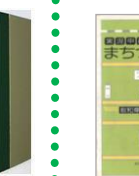
(17年6月)



(23年1月)



(12年4月)



(00年7月)



(02年9月)



(04年6月)



(06年9月)



(04年5月)



(05年10月)

<コラム集>

<名作映画シリーズ>

<中国語の著書>



(05年8月)



(13年12月)



(19年4月)



(10年3月)



(10年12月)



(19年3月)



(20年5月)



(09年8月)



(12年8月)



<『シネマルーム』シリーズ既刊全53巻>



(23年1月)



(23年6月)



(23年12月)



(18年7月)



(18年12月)



(19年7月)



(19年10月)



(19年12月)



(20年6月)



(20年12月)



(21年7月)



(21年11月)



(13年12月)



(14年7月)



(14年12月)



(14年12月)



(15年7月)



(15年12月)



(16年7月)



(16年12月)



(17年7月)



(09年5月)



(09年8月)



(09年12月)



(10年7月)



(10年12月)



(11年7月)



(11年12月)



(12年7月)



(12年12月)



(07年2月)



(07年6月)



(07年10月)



(07年10月)



(08年2月)



(08年5月)



(08年6月)



(08年9月)



(08年10月)



(02年6月)



(03年8月)



(04年4月)



(04年11月)



(04年12月)



(05年5月)



(05年10月)



(06年2月)



(06年7月)